



全日本プロバス協議会

ひろば

第3号(2020年1月元日号)

目次		(以下順不同、敬称略)
2	会長挨拶「新年に当たって」	古賀 靖子
3～16	特集「楽しくなければプロバスではない」 ▽旭川 会長井合典郎「令しき仲間と和多し！」 ▽東京八王子 会長飯田富美子「笑顔が素敵に輝くクラブに」 ▽東京多摩 会長北村克彦「多摩プロバスかるたの作成」 ▽東京日野 会長後藤紀之「楽しくなければプロバスじゃない」 ▽松阪・鈴 会長田中一如「楽しくなければプロバスではない」 ▽大阪 広報委員長西宮富夫「年間スケジュールに移動例会」 ▽神戸北 会長宮森勝「『大笑い』で会員の心を一つに」 ▽姫路南 広報委員長濱口浩平「淡路島へ親睦研修バス旅行」 ▽赤穂 会長岡田國秀「パソコン教室創立も検討中」 ▽びわ湖大津 会長笹田昌孝「『こころの健康づくり』をキーワードに」 ▽徳山 副幹事長村田正樹「こういう楽しさもある」 ▽みやこ 幹事村岡徳治「『鍍絵・ワイン工場』を訪れて」 ▽北九州幹事長中山正英「月報、会報で会員のプロバス人生を紹介」	
17～18	寄稿 ① 三重県下5クラブ会長・幹事会報告 伊勢はまゆう 幹事藤原早子 ② 北九州プロバスクラブ創立 20 周年記念式典・祝賀会を実施 北九州 実行委員長竹原英作	
19～21	事務局だより ▽全日本協議会のホームページ始動 ▽今年度賛助会員申し込みは32個人5団体(12月17日現在) ▽今後の主なスケジュール	
22	あとがき	

(表紙の題字「ひろば」は古賀靖子会長揮毫)



新年に当たって

全日本プロバス協議会 会長 古賀 靖子

全国の会員の皆様、新年を寿ぎ本年もお一人お一人が元気でプロバスクラブの活力ある活動を進めてまいりましょう。年齢を重ねるほど、年齢の車輪は猛スピードで月日を通り過ぎます。早いもので北九州プロバスクラブが全日本プロバス協議会をお引き受けして1年が経過しました。

昨年は、地球温暖化によると思われる大規模な災害が多い年でしたが、会員の皆様におかれましては、ご息災でございましたでしょうか。お伺いします。また、新元号令和が5月1日から始まり、令和になって初めての正月を迎えるというおめでたさ2倍で、更には新天皇即位の儀式が多くありました。私共全日本プロバス協議会では協議会会員名簿の整理から始まり、広報活動、持ち回り理事会、1月からはホームページ開設等会員の皆様との意思の疎通を図り、絆を強めることを第一に、駆け足状態で進めてまいりました。

新執行部は2年度目を迎え、活動としては全国各プロバスクラブの自主性を高め、存在意義を醸成する必要があります。それと親クラブのロータリークラブとの協力体制を強化し、幅広く活動して組織の充実強化を図る必要があります。このことは既に昨年9月の理事会でも確認いたしました。今年はこのことを行動に移すため、各クラブが親クラブに積極的に働きかけを行っていただきたいと思えます。

今年の子年、新しい運気のサイクルの始まり、干支は庚子(かのえね)の年です。新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。全日本プロバス協議会の皆様が一丸となって日本の高齢社会を明るく活気あるものにしていこうではありませんか。

最後になりましたが、貴クラブの益々のご活躍と皆様のご健康を祈念致します。



特集「楽しくなければプロバスではない」

「ひろば」第3号は、「楽しくなければプロバスではない」を特集しました。全日本プロバス協議会のキャッチフレーズであり、“プロバス人生”を大いに楽しく、充実したものにし、生きがいを感じていこうというのが狙いです。原稿を募集したところ、12のクラブが原稿を寄せてくださいました。会員クラブお互いの活動に少しでもお役に立てていただければ、幸甚です。以下の掲載は順不同です。

(幹事長：松本 忠)



旭川プロバスクラブ(北海道)

令しき仲間と和多し！

会長 井合 典郎

旭川プロバスクラブは2019年11月現在会員数92名(男性69名、女性23名)で令和元年となって今年も7月から新しい年度となり、「令しき仲間と和多し」をスローガンに、「当クラブ15周年目に入りより交流と親睦を深める」「広く文化にも触れ社会貢献をめざす」を事業方針に掲げ活動しております。「楽しくなければプロバスではない」との考え方は旭川も同じで、役員一同常に楽しく気軽に参加できる例会づくりをめざし、いろいろ趣向をこらしています。

特に今年度はなるべく外部のゲスト、余興等は呼ばず、会員の楽しく興味深いスピーチをお願いする事とし、文化的な事にも触れる機会を多くと考え行なっています。8月の旭川夏祭りでは毎年恒例となっている露店を3日間クラブ自前で出店し、運営は大変でしたが今年も無事成功、収益金の一部をNPOアイバンクに社会貢献賞として寄付しました。またその中から台風15号、19号、その後の災害の皆様へ義援金を送る事もできました。

10月訪問例会では旭川市科学館(サイバル)にお邪魔し、とっても興味深い天文のお話をお聞きし、またプラネタリウム等を楽しみ、帰りには採りたて果樹セットをプレゼント。11月例会はボジョレーヌーボーを楽しむ会。お正月例会は毎年旭川市長をお迎えし新年をお祝いしています。2月は旭川の歌とされる“雪の降る街



を”を冠した音楽祭に参加するのを恒例としており、私もコンクールの課題曲“雪の降る街を”を聞いてこんなに心に染み入る歌があったのかといつも感動しています。4月例会は会員スピーチ例会に特化して3、4人の方にスピーチをお願いしたいと考えています。5月は地元の作家三浦綾子記念文学館を訪問し、田中 綾館長様から三浦文学の知られざる魅力、また短歌の心についてお話戴く予定です。ちょうど周辺の見本林のエゾヤマ桜も満開となっている事でしょう。その後、15周年の記念植樹をして市に寄贈し、6月例会では多くの会員の皆様に出席して戴いて記念写真をとっています。

全国のプロバスクラブがこれからも楽しく末永く続く事を願っています。皆様、四季を通じて魅力いっぱいの旭川にも是非お越し下さい。



東京八王子プロバスクラブ(東京都)

笑顔が素敵に輝くクラブに

会長 飯田富美子

東京八王子プロバスクラブは1995年に創立され、来年(2020年)25周年の節目の年を迎えます。本年度のテーマ「一人一人の笑顔が素敵に輝いて、素敵なクラブライフを！」のもとで活動しています。

当クラブの奉仕活動の特徴としては、創立来続いている社会人を対象とした「生涯学習サロン」の開催、10年続いている小学生親子を対象とした「宇宙の学校」の支援活動です。さらに地域活動としては、地域の祭りや文化活動への参加等、にも積極的に取り組んでいます。平均年齢82歳の男声合唱団(シニアダンディーズ)も地域から大きな評価を得てお



例会風景



シニアダンディーズ

ります。

クラブ会員数 61 名(内女性会員 13 名)が在籍し、10 余の同好会活動もみなとても熱心です。年代は 60 代から 80 代までと幅広く、入会前の経歴も多彩な方々ばかりです。研修や趣味を楽しむ場として、触れ合いの中でお互いを高めあっています。

当クラブは「生きがいを培う」クラブであり、気張らず、驕らず、そしてチョッピリオしゃれな集いとして「誰からも愛される開かれたクラブ」であり続けたいと願っております。



東京多摩プロバスクラブ(東京都)

多摩プロバスかるたの作成

会長 北村 克彦

多摩市では、令和元年 11 月から令和 2 年の 3 月まで、「地域の宝物」展を開催しているが、その中に、多摩プロバスかるたが選ばれた。多摩プロバスかるたは、当クラブの創立 10 周年の記念事業として、多摩市の進める ESD 活動にも合致し、地元小中学生の社会教育活動に貢献できることなど当クラブの活動理念である地域社会奉仕活動にも相応しいものと位置付けて会員の総力を結集して得た成果である。



内容のイメージは、地元多摩市の自然・歴史・文化・くらしにわたるものとし、小中学生を対象に、優しく、楽しく、美しいものとした。当クラブ会員の豊富な経験と知識を駆使したオリジナルなものである。

読み札は、平成 25 年 5 月から 3 か月間をかけて会員全員が無記名で投句した。その結果、222 句(読み札 46 句の 5 倍弱)もの広範で意欲的な読み句が集められ、全員による人気投票を通して選別された。絵札用原画は、読み句ごとに山田正司会員を中心とした作業チームにより 4 ヶ月かけ作成された。かるたセットに添付する別刷りの解説書は作業チームが作成し、3 月初めに印刷所に発注し、平成 26 年 7 月に完成した。

このかるた作りは、もとより成果も重要であったが、作業過程での会員協力体制で楽しみながら見事に総力が結集されたことに大きな意味があった。会員の多くは外からこの地に住み、終の住処に定めてのいわばふるさとづくりとなって、我が子を含めた次の世代へ伝える貴重なプロジェクトであったと確信している。

地域での活用に向けて、ニュータウン街づくり専門者会議、多摩市福祉協議会ボランティアセンター、多摩市児童青少年課・児童館と学童クラブなどに紹介し、市内のコミセン祭りで出展した。また、ワールドキャンパス in 多摩で世界各地から本市を訪れた若者たちと、日本文化紹介の一つとしてかるた取りを行い、日本語の勉強に役立てることが出来た。(写真はその時の一コマ)



東京日野プロバスクラブ(東京都)

今年度のテーマは

「楽しくなければプロバスじゃない」

会長 後藤 紀之

プロバスクラブの皆様、明けましておめでとうございます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックを始めとして、五所川原での第9回総会が開催され又、11月には私達東京日野プロバスクラブの創立10周年記念行事が開催される予定であり、慌ただしい1年になるかと思えます。

さて今回、全日本プロバス協議会の「ひろば」に、元旦付けの特集で「楽しくなければプロバスではない」というタイトルで原稿依頼の募集報告を受け、正直驚いています。というのも、私が今年度の会長職を引き受けるに当たり、掲げたテーマがまさしく「楽しくなければプロバスじゃない」というタイトルでした。就任後、約半年近く過ぎましたが、約40名の会員の中には原則第1線を退いた方々のクラブとはいえ、約1/3の方々が未だ仕事を継続しておられるのが現状です。又、大半の方々とは月1度の例会で顔を合わせ、活動報告をしたり懇談をして終わるというのが実情です。そう云う事からも折角ご縁があって一緒に活動する仲間として、例会以外にも集まる機会を設けて充実した楽しい人生を送ろうという事で、同じ趣味を持った方々の同好会(ゴルフ、マージャン等)や同じ干支の人達の集まり、グルメクラブ等々、楽しんでおります。



又、私達クラブの事業として「日野市・健康吹き矢サークル」活動を行っています。これは日野市の地域福祉計画に対応し、市内の色々な自治会サロンや小学校の「放課

後子ども教室」(写真)に出向いて、レクレーション吹き矢の指導を行っています。又、認定インストラクターの資格を持つ会員も 10 数名となっております。

これからも会員が生きがいを感じ、充実した生活を送ることを目標としたクラブに発展できるように、会員相互で努力して行きたいと思っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

最後に、今年は平穏無事な良い年でありますようにお祈りいたします。



松阪・鈴プロバスクラブ(三重県)

「楽しくなければプロバスではない」

会長 田中 一如

その通りです。当プロバスの設立趣意書に「交流と親睦を通して、更に新たな生き甲斐や価値観を見出す」とあります。生き方や価値観を見出す事もそれなりに楽しみですが、交流や親睦を重ねる！そのことだけでも大きな意義があると考え、年 12 回の例会のうち3回は「現地見学会」と称し日帰りバス小旅行の計画を立て名所旧跡を訪ねたり、いろいろと見学したりしています。その折、必ず皆で食事を楽しむ事にしています。行き帰りのバスの中で、酒宴が開かれ、話に花が咲き楽しい一日です。まさしく、「楽しくなければプロバスではない」そのものです。参加者は会員だけではなく、会員の家族や友人にも参加してもらっています。このことは、プロバスの広がりにも資するのではないかと考えます。その他の楽しみとして「ゴルフ会」「旅行会」「飲み会」があります。これはあくまでも有志の集まりです。ゴルフは 2 月、8月を除き毎月 1 回プレイし、スコアーが80台の人も120に近い人も共に和気あいあいと楽しい時間を過ごしています。



「旅行会」は春と秋に一回ずつ楽しみ、旅行社のツアーを利用しています。夫婦同伴の方が多く家族ぐるみの楽しい旅行になっています。「飲み会」は最近になって出来、気が向いた者が集まり、隔月でワイワイとやっています。歳に似合わない酒の量と「飲み屋」に驚かれています。同好会的なクラブを作るのも、楽しいプロバスにする為の有効な方法ではないかと考えており、これからも色々のクラブが増えていくことを願っています。

心に残った話があります。今夏、90歳になられた元会員が残念ながら亡くなられまし

た。体調不良を理由に退会されその後、間もなくのことです。亡くられる数日前に、親しくされていたある会員に「プロバスは楽しかった、有難う」と電話してられました。その言葉に私は心が揺さぶられました。亡くられた方は今年の「全日本プロバス協議会三重大会」で三重県紹介の「相撲甚句」をいい声で披露され、我々もバックコーラスで合いの手を入れました。御本人にも私たちにも素晴らしい思い出です。

(写真は、「現地見学例会」バス小旅行で住吉大社太鼓橋前で。当日のスケジュールは住吉大社～あべのハルカス「食事」～天満宮～繫昌亭の落語)



大阪プロバスクラブ(大阪府)

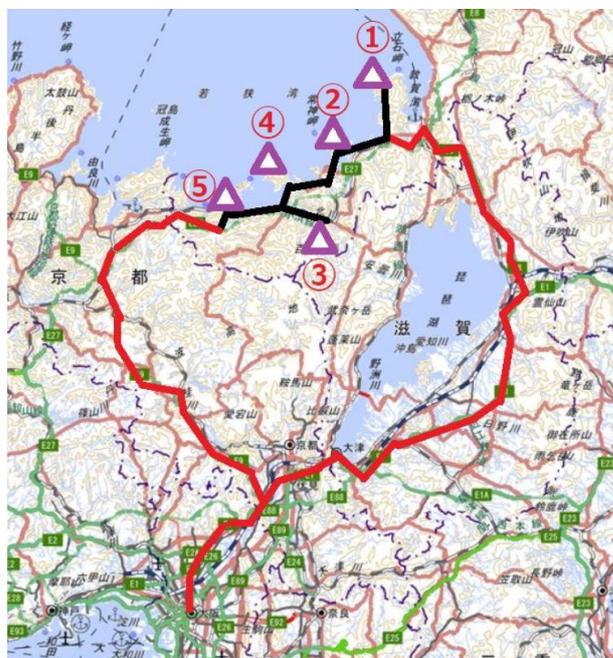
年間スケジュールに移動例会

広報委員長 西宮 富夫

大阪プロバスクラブは会員の楽しみの為に年間スケジュールに、各種イベントを移動例会等として組み込んでいます。8月夏祭り、10月旅行、12月Xmas、4月観桜会などです。2018年5月大阪プロバスクラブが行った旅行兼勉強会を写真付きで紹介します。

●2018年5月若狭旅行(原子力発電所勉強会)

- ・第一日 9時梅田出発→12時昼食→①美浜原発(PRセンターにて学習・見学)→②三方五胡(梅丈岳展望台→ホテル水月花)
- ・第二日 9時ホテル水月花出発→③国宝明通寺→④蘇洞門めぐり→12時昼食→⑤エルガイアおおおい(大飯原発PRセンターにて学習)→大阪梅田





神戸北プロバスクラブ(兵庫県)

「大笑い」で会員の心を一つに

会長 宮森 勝

当会では毎月の例会に際して、幹事による開会宣言の次に、『大笑い』を行います。この際の大笑いの指揮は、当日出席者の中の最年長者が執り行います。

まず指揮者の発声で「大きく息を吸って！息を止めて！次にワッハッハ」の大笑いで全て息を吐きだします。これを3回繰り返します。以上で大笑いは終了です。

この大笑いに要する時間は3分程度ですが、この結果として、まず大声で笑う事により、普通の生活では大声を出さない人が、大声を出す事になります。更に、深呼吸をする事により、腹筋や横隔膜の筋肉を使います。更には大声を出す事によって、声帯を含む喉の筋肉をも使います。以上の様な効果が得られるでしょう。

こうして普段の生活では行わない事を、例会の度に皆で行う事によって、例会の開始を宣言すると共に皆の気持ちを一つにして例会を行う事が出来る様です。点鐘で開会を宣し、点鐘を以て会を終了するのも一方法ですが、我が会は「大笑い」を以て開会を宣言するのも一つの方法としています。

例会の一つの行事で年に3回ほど野外研修と称し、ゲストを含め研修&観光をしています。令和元年の10月は赤穂の大石神社で古の赤穂浪士をパネルで忍び、その後は赤穂の海の絶景に堪能しました(写真)。



姫路南プロバスクラブ(兵庫県)

淡路島へ親睦研修バス旅行

広報委員会委員長 濱口 浩平

姫路南プロバスの令和元年10月例会は親睦研修バス旅行。10月9日、行き先淡路島。参加者19名。午前8時30分予定通り神姫バスの“yuttarina”にて出発。バスは

まあまあゆったりしていた。

10月例会になるので、岡本浩一総務委員長から例会資料が配布された。先ず明石大橋を渡ったところのパーキングエリア、オアシスでトイレ休憩。爽やかな秋晴れのどこまでも青い空に雲一つない。会員の皆さん大変心がけが良かった天候、である。その後東方面から車で来られた二人を拾い最初に訪れたのが伊弉諾神社。いざなぎと読むがこの難しい字は日本書紀からのものだそうである。大きな鳥居から正面参道を行くと右手に“さざれ石”があった。「君が代」にある石で20年前当時の天皇が訪問されたときの記念に熊本から運ばれてきたそうである。手水鉢は秀吉が大阪城へ大量の石を運ばせたとき誤ってこの近くの海へ水没させたものを氏子が拾い上げ奉納したものだそうである。拝殿は檜波田葺きの品格高い建物であった。その前で集合写真を撮ってもらった。この神社はパワーアップの力があるとか会員たちはそれぞれお願いをされたようだ。



次に訪れたのは高田屋嘉兵衛顕彰館(菜の花ホール)。海沿いのドライブを楽しんで着いたのは美しい花を咲かせた公園にあるこの建物。江戸時代北前船で命を賭け海に生きた男。たった一人で大国ロシアとの紛争を解決し日本を救った男。その映画を見せて貰った。高田屋嘉平は洲本に生まれ、多方面で活躍し晩年はまた洲本にもどりここで亡くなった。大変優秀な人物であった彼にまつわる達筆の書面やいろいろな展示物がたくさん見られた。菜の花は司馬遼太郎の作品にちなんで名付けられたものである。見ごたえのある資料館であった。

昼食は濱口浩平会員の友人が経営する旅館“うめ丸”にて。山の上に立つ立派なホテルで海の幸を中心の料理を美味しく頂いた。次に訪れたのは北淡震災記念公園。阪神淡路大震災によってできた野島断層をありのままに保存展示いろいろな角度から断層をわかりやすく解説。断層の大きさや生垣の木のずれなど驚かせられた。あの時の地震の揺れを体験することもできた。24年前、ここから少し離れたところ播州・姫路から、そして少し小さい揺れだったが地震の恐ろしさが蘇ってきた。将来起こりうる大地震について考えさせられ備えなければならぬと思った。最後に西側のパーキング

オアシスでお土産を買い帰路についた。少し交通渋滞にあったが無事姫路へ帰ってきた。楽しいバス旅行であった。

上記は10月例会の様ですが、昨年(平成30年)12月例会は“桃季”で美味しい中華料理でお酒も飲みながら、楽しい時間を過ごしました。1月は提携先の姫路南ロータリークラブの例会に数名参加し、市長の講演を聴きました。年が明けて4月の総会は記念講演で植物学者の家永善文先生のテーマ“蓮・ハチス・はず”で講演して頂きました。6月は姫路クラブと我々クラブ主催の近畿プロバスクラブ交流会を開催し、全日本プロバス協議会から古賀靖子会長様、各地クラブから多くの会員の参加がありました。8月例会は“セリーナ”ビュッフェで美味しい料理で、お酒も進みました。9月は赤穂クラブと合同ゴルフコンペを相生カントリークラブで赤穂から7名、私共8名で楽しくゴルフをプレーしました。

このように“楽しくなければプロバスではない”精神で活動しています。



赤穂プロバスクラブ(兵庫県)

パソコン教室創立も検討中

会長 岡田 國秀

AM11:30過ぎ、三々五々と会員たちが商工会議所3階会議室に集まり、思い思いの席に着き、談笑を始める。月1回の例会日、例会開始前の和やかな一時。

定刻の12時になると、幹事の発声で厳粛に例会が始まります。通常の報告事項、審議事項が終わり、楽しみの昼食会。食事をしながら会員相互の情報交換等々約40分、食後は「卓話」約1時間。

続いて、内容は月により替わるが、会員卓話、外部卓話、研修旅行等。令和元年10月の研修旅行は、しまなみ海道、大山祇神社、伯方の塩、万田酵素の工場などの見学、11月は新幹線の部品を作っている(株)アコオ機工の工場見学等、いずれも研修委員会が叡智を絞った、楽しく、ためになることばかり。

この例会だけでも十分楽しいのですが、「グランドゴルフ」「訪ねましよう会(11月は紅葉狩り、丹波篠山、高源寺)」、それに「ゴルフ」の同好会が有り、それぞれのリーダーを中心に楽しく会を継続しています。新たに「パソコン教室」の創立を検討中です。



ハマウツボの説明会風景

さらに、年1回ですが近隣クラブとの合同例会、合同ゴルフコンペで情報交換もしています。また、会員の中には、地域に於いて、ボランティア・リーダーもおられ、淡路島と赤穂にしか生息していない絶滅危惧種「ハマウツボ」の保護・観察・増殖に小学生と地域を巻き込み、実績を積み重ねている会員。「千種川清流作り委員会」に所属している会員。その他各種イベント情報を集め、「出来る時に、出来ることを」をモットーに参加しています。

令和元年10月23日「兵庫県プロバスクラブ交流会」で楠本利夫先生の記念講演「シニアルネサンス～人生100年の二幕論～」があり、シルバー時代の活躍方法を丁寧に教えて頂きました。6、7年前の会員卓話で我々シルバー時代の人には「キョウヨウ」と「キョウイク」が大切だ。「キョウヨウ」とは今日用事がある、「キョウイク」とは今日行くところがある、ということです。常に前向きに人生を楽しく生き抜くことだと理解しています。しかし、迫り来る高齢化の波には勝てず、会員減少に歯止めが掛らず、新会員募集方法を模索している毎日です。



びわ湖大津プロバスクラブ(滋賀県)

「こころの健康づくり」をキーワードに

会長 笹田 昌孝

私たちのクラブは平成30年6月2日に誕生致しました。正直よくわからないまま「将来、滋賀県のみなさんと共に明るく楽しく健康的になりましょう」と産声をあげました。そして将来このような姿を実現するために、まず私たちが見本となることに致しました。そこで月に1回の例会時に会員をはじめいろいろな方からお話を伺いました。医療の話もあれば宗教、芸術そしてスポーツの話など、いずれも健康づくりに大切な内容ばかりで楽しく耳を傾けました。その内容は広報により会員だけでなくお知り合いの方などへと広がりを持っているようです。

また、クラブ活動の一つとして、多くのメンバーが県民のみなさんと一緒にびわ湖畔の清掃(写真上)に参加させて頂き、その折にプロ



バスクラブを知って頂こうと大きな「びわ湖大津プロバスクラブ」の旗を掲げて参りました。実に楽しい、有意義な機会となりました。

こうして1周年が近づいた頃に記念事業の話が持ち上がり、県民のみなさんに役立つ内容の講演会を開くこととなりました。慣れないことが多いところ全会員で役割分担し動き回り、やっと9月16日を無事に迎えました。テーマは「滋賀発 先進的健康づくり」と題し、三日月大造知事、河本英典スポーツ協会会長の招待講演並びに会長の記念講演に約400名の方々を迎えました(写真下)。聞くところでは会場のみなさんに喜んで頂けたようで安堵し、何よりも会員一同が4ヶ月余りの準備と当日運営を一丸となつて過ごしましたことが印象的です。

今年度は「こころの健康づくり」をキーワードに、私たち自身がモデルとなるように心がけ、そして将来三世代が健康的に日々暮らす姿を思い浮かべながら共に進んでいこうと思っています。



徳山プロバスクラブ (山口県)

こういう楽しさもある

副幹事 村田 正樹

令和元年のこの秋、六郷満山国東半島を訪れたときのこと、立ち寄った古堂の中ではまだ若い天台僧が独り読経中であつた。薄い光に立つ本尊如来像に対峙し、如来の心に融け込もうとする僧の一心の緊張感にうたれた。その若さを尊いと思ひ、動けなかつた。人はなぜ古来修行の地を求め続けて来たのであろうか。



今年(令和元年)、我が徳山プロバスクラブに7人の会員さんが入会された。

- ① 国際的にも著名な学究のお方。元国立大学学長さん。
- ② 福祉施設理事長さん。趣味高く多く。特技は、剪定。女性。
- ③ 最年少。男盛り。関係者はしびれる国税庁から今、税理士さん。
- ④ 「日本五大工場夜景」内で大企業経営陣中に。世界の山を駆ける今。
- ⑤ もともと科学の人。現在市民センター長さんとしてとてもお忙しく。
- ⑥ 在学中演劇研究会。卒論「電子計算機のメモリー」。そして、地元民放へ。
- ⑦ 若い日、青雲の志断ち難くスペイン語圏アメリカへ単身。以来世界を股に。

さて、テーマは「プロバス人生を楽しむ」。私たちも楽しい恒例行事をもっている。月2回の例会。月々の卓話、新年会、春の桜旅行、賀寿の宴。秋の一泊旅行は四国深山マチュピチへ。

ところで、私も少しは人生を語って許される年になったと思っているが、だからであろうか、人様の人生観に惹かれることが多くなった。例えば①のお方の自己紹介欄に「春にはイノシシとの競合に劣勢ながらもタケノコを掘り・・・」とある。吸い込まれそうになる。他の方にもそれぞれに惹かれる。これが、私のもう一つのクラブの楽しみ方であり、こういう「人への希求」は会員増への潜在的願望となってくる。

さて、ここでいう楽しさには「充実・有意義」を含みたいと応募要項にあったが、同感であり私たちもその意味で人生の具体的備えに怠りはない。会員のお医者様をクラブドクターとして甘え、長生きの秘訣と覚悟の指南を受け続けている。また、先日の会員卓話では②のお方から特養についてお話をいただき、深刻に聞いた。

写真は引き算であるという。主題を浮き上がらせるためであろう。ならば、人生もまた引き算である。年齢を重ねるほどに、我が人生の主題をきわめてはっきりと浮かび上がらせながらも茫洋とした人格をもち、天を仰いで颯爽と生きたいと思う。



みやこプロバスクラブ(福岡県)

『“明るく”“元気に”の合言葉のもと仲間と楽しむ』
一つの取り組み

大分県安心院町「鰻絵・ワイン工場」を訪れて

幹事 村岡 徳治

今回の研修旅行は
「安心院町の鰻絵(こてえ)とワイン工場
の見学です」

と、担当者からの言葉で、会員一同、
初めて耳にする「鰻絵」ということに興味
津々だった。

「鰻絵とは、家の土蔵や戸袋に描かれたレリーフのことで、平らに塗られた漆喰の壁面に、鰻を使って漆喰を塗り上げ、彩色した漆喰を上塗りするもので、絵柄としては、恵比寿、大黒、龍や虎など描いたものも多く、主に、商屋の家に描かれている。」と、担当の会員が、資料を準備してくれた。



民家に描かれた鰻絵

当日は、北風が強く寒い日であったが、実際に目にすると、鮮やかな色彩で、迫力がある。当時の左官の意気込みを感じると共に、地域の人々の生きざまを思い描くことができた。

ボランティアガイドの熱く語る、そして流れるような説明と共に、地域を慈しんでやまない心を温かく感じ、寒さも忘れ饅絵を堪能した。

午後からは、安心院といえば「ワイン」である。ワインの製造工程の見学もさっと終了し、試飲コーナーに直行する。甘い、辛いと言いながら、甘いも酸いも知りつくしている会員の一味違った満足気な顔を見て、今回の研修旅行も、初期の目的「明るく、元気に」が果たされた気がする。

我がみやこプロバスクラブの会員の皆さんは、多くの旅を経験していると思われる。しかしながら、身近な地域の小スポットや由緒ある場所を見つめ直し、再度訪れて新たに心を動かすこともいいものである。

そこには、仲間がいるから。



北九州プロバスクラブ(福岡県)

月報、会報で

会員のプロバス人生を紹介

幹事長 中山 正英

いささか手前味噌ではあるが創立 20 周年記念行事が先日(令和元年 11 月 11 日)、無事成功裏に終えた。これも、ひとえに在籍会員 42 名が一丸となって推進したことに尽きる。日頃の取り組みの成果とも言える。

「楽しくなければプロバスでない」を旗印にして重点的に取り組んでいることを列挙する。

○各委員会(企画・親睦・広報)の充実

1) 月例会(写真右)では

外部講師を中心に小 1 時間程度の卓話

企画委員会を中心となって講師の選定にあたる。卓話の内容によっては会員外にも参加を呼び掛ける。



委員会(毎月1回夕刻実施し会食で親睦を図る)

2) 月報「つながり」、会報「Link」の発行

月報: 広報委員会が編集。リレー随筆(順番決め全員で)の企画も

会報: 編集委員会が編集(1回/年 発行 全員原稿提出)

3) 見学研修(年数回)、暑気払い、新年会の実施

親睦委員会が企画・立案・実施する。

○月例会の充実

・座席は固定しない(くじ引き)、男女混合

・月報の配布、脳活体操、誕生会、会食、卓話、委員会・同好会報告

ショートスピーチ(会員による。テーマは自由で3分程度。終了後次のスピーチ担当者を指名する)、北九州プロバスの歌(会員作詞)斉唱等々

・写友会の作品展示

・ふれあい掲示板(お知らせ)の設置

○同好会(11クラブ)の充実

月例会時に報告、連絡



市立医療センターで写真作品を展示

このように平素の活動を通し仲間意識の深化と当クラブへの参画意識の高揚を図っている。

なお、当クラブの同好会は次の通り(発足順)。

▽歴史文学講座 ▽ゴルフの会 ▽鳥鷺うろ会(囲碁の会で、うろうろ会)

▽カラオケの会 ▽ワインを楽しむ会 ▽写友会

▽風の会(ウォーキングの会) ▽メールハーモニー(男声合唱団)

▽謡曲の会 ▽日本酒の会 ▽食美会(昼食食べ歩きの会)

寄稿①



三重県下5クラブ会長・幹事会報告

伊勢はまゆうプロバスクラブ 幹事 藤原 早子

平成元年10月1日に三重県下5プロバスクラブの会長・幹事会を開催いたしました。ここにご報告させていただきます。

三重県下5プロバスクラブとは九華(くわな)、四日市南、鈴鹿西、松阪・鈴、伊勢はまゆうの各クラブのことで、地図上では北から南に向かい、三重県内に広がっています。

この度の会長・幹事会の担当は伊勢はまゆうクラブでした。1年交代で5年に1度担当が回ってきます。



伊勢はまゆうクラブの今年の課題は、人員の増強、若者の確保、外部講師の確保です。中でも会員数では男性4名、女性9名で年齢層も高く、平均年齢は78.3歳です。外出するのにも車では遠出は無理な状態です。外部講師をお願いするには人員不足で今のところ会員卓話、時々、外部講師をお願いしている状態です。プロバス内は和気あいあいと楽しんでおります。

松阪・鈴クラブさんも平均年齢78歳で伊勢はまゆうクラブとほぼ同じです。活動内容は伊勢はまゆうと異なり外部活動、名古屋キリンビール工場見学、名古屋城見学、シニア健康づくりなどを行なっています。

鈴鹿西クラブさんは、会員数25名、活動としては、トヨタ工場や博物館の見学、日展鑑賞会、幹事喜田さんによる「塩についてアレコレ」の会員卓話、食事会など多岐にわたり、活発に活動されています。

四日市南クラブさんは会員数28名、平均年齢74歳で、クラブ内に沢山の委員会があるようです。例えば親睦交流委員会、知的研究委員会、社会交流委員会、情報活用委員会等があり、生き生きとされている様子で羨ましく思いました。

九華クラブさんは今も会員が増加傾向にあると伺い全く羨ましく、都会と田舎の違いか、プロバスと云うクラブの知名度の違いか、内容の違いかと思いました。

短い時間でしたが、クラブ同士の交流が持てれば会長・幹事会は年に一度でも良いと思いました。少ない人数でも有意義な時間を持つことを真剣に考える良い時間であったと感謝しています。

寄稿②



北九州プロバスクラブ

創立 20 周年記念式典・祝賀会を実施

実行委員長 竹原 英作

1999年11月11日に産ぶ声を上げた北九州プロバスは、満20年を迎えた丁度この日に記念式典(写真上)と祝賀会を開催した。

当日は御多用中の北橋北九州市長、又遠くは北海道旭川から全日本プロバスの山内副会長(写真中)ほか、全20名を超える来賓のご臨席を得て大変盛況な会となった。

先ず古賀会長からの謝意と活動コンセプトを中心とする挨拶に始まり、前記の2氏やロータリー灘谷ガバナー等から祝辞をいただいた。

式典は、この後当地の福祉関連4団体への協賛金等の贈呈や、クラブ内規による永年在籍者の表彰と続き無事に終了した。

続いて場所を替えての祝賀会は、全会員のゲストを含む、盛装した175名にも及ぶ諸兄姉で埋め尽くされた。

会の冒頭、会長からはクラブの20年の来し方を映像で紹介されたが、その内容は例会の運営から各同好会活動に至るまで詳しく編集され、ホールの壁面の至る所に放映される方法も印象的なものであった。

この後は祝賀会の目玉の一つ市長講演。未来都市という目標に向かっての市の様々な取り組み、課題が説明された。北九州のリーダーは多面的なテーマを明快に、且つ熱意を持って語られた。

いよいよ乾杯。全日本川端副会長の音頭で乾杯し団らんの一時間に入って行った。アトラクションにはシャンソン歌手TAKAKO(写真下)が登場。低音の美声のリサイタルで祝賀会のフィナーレを飾った。



事務局だより

全日本協議会のホームページ始動

全日本プロバス協議会のホームページがいよいよ令和2年1月元日付で本格始動します。パソコンに「全日本プロバス協議会」と打ち込んで検索すると出てきますが、「全日本プロバス協議会—ホーム」とあるのが今回新設したホームページです。

新設した目的は、まず、全日本プロバス協議会をはじめ全国のプロバスクラブがどのような活動をしているのかを一般の方々や団体・企業等に知っていただくためです。そしてまた、会員クラブの一般会員の方々にも読んでいただき活動等の参考にしていただきたいと思います。

サイトメニューは、次の9項目(令和2年1月現在)に分かれています。

▽ホーム

古賀靖子全日本協議会長のご挨拶

▽プロバスクラブとは

発祥のいきさつから目的、現在までの流れ等を一覧表にまとめるなど分かりやすく説明しています。

▽協議会ニュース

現執行部が発足して発行した「全日本プロバス協議会ニュース」No.1～No.3を掲載しています。但し各クラブの個人情報に絡む点は全日本事務局が判断して削除しています。

▽協議会ひろば

上記同様に、「全日本プロバス協議会ひろば」第1号～3号を掲載しています。

▽会員クラブ名と所在地

県別にクラブ名と所在地(市区町村名まで)を一覧表で掲載しています。各クラブへの連絡先等は個人情報に触れる恐れもありますので、サイトの最後にある「お問い合わせ」で問い合わせていただき、事務局で善処したいと思います。

▽会員サイト

会則等を掲載しています。このサイトは「パスワード保護領域」となっており、パスワードは文書にして今回の「全日本ひろば」の送付先会員クラブに同封しています。必要な方は各クラブの担当者にお問い合わせください。また、ホームページをお持ちでないクラブも「活動報告」というページも作っていますので、こちらに投稿ください。

▽リンク

会員クラブのホームページに入ることが出来ます。現在は、わずか2クラブしか掲載されておりませんが、ホームページをお持ちの会員クラブは全日本のホームページに掲載できるよう希望を出していただきたくお願いいたします。また、貴クラブのホームページにリンクのサイトがありましたら、全日本のホームページに登録していただきますようお願いいたします。

▽活動報告

全日本協議会の2019年7月から現在までの、令和元年度の活動報告や、全日本協議会関係の活動予定等も掲載します。

▽お問い合わせ

原則として一般からの問い合わせ窓口です。会員クラブの会員個人からの問い合わせは、基本的には所属クラブを通して問い合わせさせていただきたくお願いいたします。

なお、「協議会ニュース」「協議会ひろば」は発行されるたびに掲載します。また「活動報告」や急ぎのものはその都度更新し、他のサイトは毎年年末に内容等を再検討し、必要に応じて更新したいと思えます。

今回のホームページ、及び運用の基本ルールは、全日本事務局が試行錯誤しながら作成したものです。ご意見、ご感想、ご注文等がありましたら、事務局の方に連絡ください。課題などは事務局で協議し、善処いたします。

全日本協議会幹事長：松本 忠
事務局幹事(ホームページ担当)：安高 洋一

全日本プロバス協議会のホームページ運用について

1) 設置及び名称

全日本プロバス協議会の新規ホームページを2020年(令和2年)1月1日付で本格始動することとし、名称は「全日本プロバス協議会一ホーム」とする。

2) 設置の目的

第一に、全日本プロバス協議会及び全国のプロバスクラブの活動に関心のある一般の方々や団体・企業等に情報を提供する。次いで、会員クラブの一般会員にも活動等の参考に供する。

3) サイトは次の9項目(令和2年1月現在)とする。

イ) ホーム＝全日本協議会会長の挨拶

ロ) プロバスクラブとは＝発祥のいきさつ、現在までの流れ等

ハ) 協議会ひろば＝現執行部が発行する「全日本プロバス協議会ひろば」

ニ) 協議会ニュース＝現執行部が発行する「全日本プロバス協議会ニュース」
ホ) 会員クラブ名と所在地＝県別にクラブ名と所在地(市区町村名まで)を一覧表で。

ヘ) 会員サイト＝「パスワード保護領域」で、会則等を掲載。パスワードは別途会員クラブへ連絡する。

ト) リンク＝希望する会員クラブのホームページにリンク。

チ) 活動報告＝全日本協議会関連の活動報告及び主要な活動予定等。

リ) お問い合わせ＝原則として一般からの問い合わせ窓口。会員クラブの会員個人からの問い合わせは、基本的には所属クラブを通して行なう。

4) 管理

ホームページの管理は全日本プロバス協議会事務局が責任をもって行なう。「協議会ひろば」「協議会ニュース」等は発行のたびに掲載し、「活動報告」等や急ぎのものはその都度更新する。その他のサイトは毎年年末に内容等を再検討し、必要に応じて更新する。

5) 個人情報の保護

全日本事務局はホームページ記事掲載時に個人情報の保護に留意する。特に個人情報等保護の観点から「協議会ひろば」「協議会ニュース」等に掲載されている個人情報に関連する事項等は同事務局の判断で削除できる。

※参考

▽ホームページ制作会社＝株式会社エスセブン(〒192-0364東京都八王子市南大沢3-2-3-402 Tel/fax042-675-3515)

今年度の賛助会員申し込みは32個人 5団体

引き続き 2020 年 6 月末まで募集中

2019 年度(令和元年度)の賛助会員の募集が 11 月から始まったが、12月17日現在、協賛金(1口1万円)を拠出していただいた賛助会員は32個人、5団体で、協賛金総額は40万円となった。

賛助会員制度は、全日本プロバス協議会の運営と発展に寄与するため 2018 年度に「賛助会員制度設置内規」に基づき 2018 年度に発足したもので、同年度は 25 個人、5 団体が賛助会員となり、拠出総額は56万5000円だった。今年度の募集は 2020 年 6 月まで続けられるが、さらなる応募を期待している。なお、10口以上の拠出者は永久会員。今年度の賛助会員は次の通り。(敬称略、申し込み順、カッコ内は所属プロバス

クラブ名)

[個人]▽中村實(横濱) ▽立川富美代(東京八王子) ▽馬場康博(旭川)
▽川端崇且(大阪) ▽田中信明(東京八王子) ▽杉山友一(東京八王子)
▽飯田富美子(東京八王子) ▽一瀬明(東京八王子) ▽菅野忠勝(横浜グリーン)
▽鈴木久男(びわ湖大津) ▽秋山正仁(東京多摩) ▽白石孝祐(北九州)
▽浅川文夫(東京八王子) ▽島村吉三久(五所川原) ▽滝川益男(東京多摩)
▽宮下眞知子(徳山) ▽洞ミヨ子(北九州) ▽田口隆夫(鈴鹿西)
▽北島保和(北九州) ▽竹原英作(北九州) ▽松本忠(北九州)
▽住吉育代(北九州) ▽池田成彬(北九州) ▽米谷元則(北九州)
▽安河内幸子(北九州) ▽安高洋一(北九州) ▽吉田信雄(北九州)
▽山下博(北九州) ▽福田直正(北九州) ▽橋本峰子(北九州)
▽和田悦子(北九州) ▽森山功(横濱)
[団体]▽指宿▽東京八王子▽五所川原▽横濱▽福山
[永久会員]◇2018年度～▽山内和夫(旭川)▽古賀靖子(北九州)

今後の主なスケジュール

- ◎鹿児島県プロバスケットボール合同会及び鹿児島西南プロバスケットボール例会
日時:令和2年1月11日(土) 午前11時～和膳ゆうづき
鹿児島市谷山中央3丁目228-1 TEL 099-268-1149
- ◎神奈川プロバスケットボール親睦交流会・横須賀大会
日時:令和2年2月21日(金) 正午～横須賀セントラルホテル
神奈川県横須賀市若松町2-8 TEL 046-827-1111
ホストクラブ:神奈川横須賀プロバスケットボール
- ◎全日本プロバスケットボール協議会新旧合同理事会
日時:2020年7月15日(水) 時間未定 東京・渋谷の代々木倶楽部
東京都渋谷区代々木3-59-9 TEL 03-3370-3141
- ◎全日本プロバスケットボール協議会第9回総会&五所川原大会
日時:2020年8月8日(土) 午後2時～
「オルテンシア」(五所川原市ふるさと交流圏民センター)
五所川原市字幾世森24-15 TEL 0173-33-2111
ホストクラブ:横須賀プロバスケットボール
- ◎東京日野プロバスケットボール10周年記念式典
日時:令和2年11月19日(木) 開催時間未定 立川グランドホテル
東京都立川市曙町2-14-16 TEL TEL 042-525-1121

◎東京八王子プロバスクラブ創立25周年記念式典及びレセプション・パーティー
日時・2020年10月3日(土)午後5時～八王子エルシィ

東京都八王子市八日町 6-7 TEL 042-623-2111

(以上、全日本プロバス協議会事務局にご連絡があった分のみ掲載しています)

あしがき

- ◆北九州プロバスクラブが全日本プロバス協議会の会長及び事務局をお引き受けして早くも1年余り。会員クラブの皆様の声を集めた「ひろば」を2回、それに全日本協議会内の出来事を中心にお知らせする「ニュース」を3回、それぞれ発行してきました。皆様方から温かいお言葉をいただき、ここに令和2年のお正月に向けた「ひろば」第3号を発行することができました。これもひとえに皆様のご協力の賜物で、深く感謝しております。
- ◆また、次なる展開である、全日本協議会のホームページのお正月本格始動を「ひろば」第3号で紹介出来たのは嬉しい限りです。「ひろば」や「ニュース」が会員向けの情報発信なら、ホームページは会員に限らずプロバスクラブに注目する世界の人々への“窓口”であり、今後のプロバス発展の一つの“武器”になることを期待しています。
- ◆2年目に入って「ひろば」や「ニュース」をどう展開していくか。従来の方針を踏襲しながら、必要に応じて過不足なく発行していこうと思っています。新年にも変わらぬご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

(幹事長 松本 忠)

全日本プロバス協議会

事務局

〒805-0016 福岡県北九州市八幡東区高見2-4-21

事務局幹事 中山 正英

PCメールアドレス zeniprbu@jcom.zaq.ne.jp

会 長 古賀 靖子 携帯電話 090-3607-6618

幹事長 松本 忠 留守電&FAX 093-967-9925